

JFA 第 46 回全日本U-12 サッカー選手権大会

山梨県大会要項

1. 名 称：J F A 第 46 回全日本 U-12 サッカー選手権大会 山梨県大会
2. 主 催：（公財）日本サッカー協会／（公財）日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団／
読売新聞社／（一社）山梨県サッカー協会
3. 主 管：（一社）山梨県サッカー協会 4 種委員会
4. 後 援：日本テレビ放送網／報知新聞社
5. 協 賛：YKK／花王／日清オイリオグループ／ゼビオ／日本マクドナルド／
（株）P&P 浜松（写真）

6. 開催協力：モルテン

7. 日程・会場

- ① 大会期日：2022 年 11 月 6 日(日)、13 日(日)、20 日(日)、23 日(水祝) 予備日なし
- ② 開会式：行いません。
- ③ 抽選：2022 年 9 月 10 日(土) 4 種委員会評議員会時に実施。
- ④ 会場計画

【1 日目・11/6(日)】1・2 回戦

・8 面～ 小瀬球技場 2 面・長坂総合 2 面 富士川 2 面：韮崎市営 G2 面～

【2 日目・11/13(日)】ラウンド 32

・4 面～長坂総合 2 面・アルプスプラッツ 2 面)

【3 日目・11/20(日)】ラウンド 8 準々決勝・準決勝

・2 面（長坂総合 G）

【4 日目・11/23(祝水)】3 位決定戦・決勝戦・閉会式

・1 面（長坂総合 G）

※1～2 日目は、各会場責任チームが担当

※3 日目と最終日は、役員及び事業運営部が担当する。

8. 参加資格

- ① 「参加チーム」は、2022年度日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
- ② 参加チームの構成は、「単一加盟チーム」に限られ年間を通じて継続的に活動していること。
- ③ 「参加選手」は加盟チームに所属する選手であること。
- ④ 複数エントリーを認める。複数エントリーするチームはU-12リーグに参加していること。ベンチ入りする引率指導者は他チームとの重複を認めない。
- ⑤ 参加者は全員がスポーツ傷害保険に加入済みであること。
- ⑥ 「参加チーム」はU-12リーグに参加していること。ただし、新型コロナウイルス感染症対応の影響により、所属するU-12リーグが開催されない場合、本項を適用外とする。
- ⑦ 都道府県大会から決勝大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
- ⑧ 女子選手については、(クラブ申請を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
- ⑨ チーム役員は「参加チーム」を掌握または指導する責任ある者であること。なお、ベンチ入りするチーム役員のうち、選手への戦術的な指示やコーチングを行う者(監督・コーチ)は、全員が日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有することとする。
- ⑩ 参加チームは帯同審判員による審判割当に対応できるよう少なくとも2名以上の審判員を擁していること。
- ⑪ 会場確保及び運営等に協力できるチームであること。
- ⑫ 4種委員会が定める「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を遵守し、大会運営に協力できるチームであること。
- ⑬ 大会シードについて
JFAU-12サッカーリーグ in 山梨県 G グループ上位8チームの結果を反映する。
グループ順位を優先し、以下①勝点、②得失差、③総得点の順番で決定する。
- ⑭ 今年度、大会シード対象8チームは3回戦(大会2日目)からの出場となります。

9. 大会参加申し込みとエントリー申請

- ① 参加希望受付8月10日(水)まで
各地区理事が取りまとめ、運営担当地区理事(野村宛)に通知する。
- ② KICKOFF「大会エントリー」システムを使用する。
- ③ システム大会名「第46回JFA全日本U-12サッカー選手権大会山梨県大会」
- ④ 申請期間 10月4日(火)~11月4日(金)
チーム登録責任者または代理者が申請し、各地区承認者(広報部)へ連絡する。
- ⑤ 追加・変更について

申請承認後、選手の追加や変更がある場合は申請期間中に限り各地区承認者による「差戻し」処理で対応する。

- ⑥ 大会期間中は原則としてエントリー内容の変更を認めない。
- ⑦ 複数エントリーチームは大会参加費 5,000 円を 9/10 抽選会までに会計に支払う

10. エントリー票及びメンバー表の扱いについて

■選手証と本人の照合

- ① 選手証は「エントリー票」又は「カード型選手証」（必ず顔写真のあるもの）とする。
- ② エントリー票は大会エントリーシステムの「大会参加申込書」を印刷して使用します。
- ③ 1日目及び2日目は(1試合目のみ)会場責任チームが、エントリー票及びメンバー表と選手・背番号・本人(顔)を照合する。
- ④ 3日目及び最終日は事業運営部員が全試合照合する。
- ⑤ 確認書類に不備がある場合は試合に出場することが出来ない。

■メンバー表の提出

- ① メンバー表は毎試合開始 30 分前までに本部に提出すること
- ② メンバー表の背番号はエントリー票背番号と一致していること。

11. AD 証・資格確認について

- ① チームスタッフは 4 種委員会 AD 証を常に携帯すること。
- ② 有資格指導者は指導者証を本部提示 (KICKOFF アプリ可) すること。
- ③ 帯同審判員は審判証を本部に提示 (KICKOFF アプリ可) すること。
- ④ 会場責任チームの運営サポート保護者は AD 証 (チームパーソン) を常に提示する

12. 大会形式

- ① トーナメント戦ノックアウト方式にて優勝以下第 3 位までを決定する。
- ② 優勝チームとその選手は JFA 第 45 回全日本 U-12 サッカー選手権大会への出場権を得る。
※全国大会への出場は、都道府県大会で優勝したチーム・選手とする。当該チームの都道府県大会への登録選手数が 20 名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手から補充することができる。

13. 競技規則

- ① JFA「サッカー競技規則 21/22」及び「8人制サッカー競技規則」による。
- ② 日サ協発第 220134 号 2022 年 8/31 発信の「意図的なプレー」と「ディフレクション」との違いに関するガイドラインの明確化を適用します。

14. 競技会規定

- 以下の項目については本大会の規定を定める。

① 競技のフィールド 「8人制サッカー競技規則による」。

フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m × 幅（ゴールライン）50m（各推奨）
ペナルティーエリア：12m ペナルティーマーク：8m ペナルティーアークの半径：7m
ゴールエリア：4m センターサークルの半径：7m（規定）交代ゾーン6m（ハーフウェーラインの中央の仮想ラインから3mずつ）、テクニカルエリアを設置する。

② ボールは検定皮革4号球を使用する。

③ 競技者の数

(ア) 8人の競技者(うち1人はゴールキーパー)が試合に出場する。

(イ) 交代要員の数：8名以内とする。

(ウ) 交代を行うことができる回数は制限しない、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。

(エ) 試合開始時8名に満たない場合、試合は行わず0-5で敗戦したものとみなす。

(オ) 試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合にはそのまま続行する。

(カ) 新型コロナウイルスの影響により試合開始時8名に満たない場合は、試合を中止とし、もう一方のチームが次回戦へ進出する。

④ ベンチ入りするチーム役員・選手の人数

(ア) ベンチ入りするチーム役員は2名以上3名以下とし、試合中の指示はテクニカルエリア内から1名が立って行う。(ただし、8.参加資格⑨に準ずること)

(イ) ベンチ入り選手の人数は20名以内、8名の交代要員と区分できるようにすること。

(ウ) ベンチサイドは組み合わせ表番号の小さいチームがピッチに向かって左側とする。

⑤ 審判員

(ア) 1人の主審と2人の副審と第4の審判員で行う。

(イ) 1日目・2日目の第1試合は第3試合の2チームが担当する。(主・4審、副審2名)

2試合目以降は前の試合の2チーム(勝ちチームが主審・4審を負けたチームが副審)が担当する。ただし、1日4試合で終了する会場では、第4試合の2チームが第1試合を担当し、以降は順に試合後に審判を担当する。

(ウ) 主審・4審、副審2名の分担は、両チームの協議により変更することも可能とする。

(エ) 大会3日目の準々決勝の主審・第4審は審判部、副審はチーム帯同審判が担当する。

(オ) 大会3日目の準決勝から最終日は全て審判部が担当する。

⑥ 競技者の用具・ユニフォーム

(ア) JFAユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

(イ) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正・副2組のユニフォームを参加申込書(Webエントリー申請)の際に登録し、各試合に必ず携行し(FP・GK用共)、いずれかを着用しなければならない。

(ウ) 正・副の2色については明確に異なる色とする。

- (エ) 審判員は対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとその試合において着用するユニフォームを決定する。
- (オ) 前項の場合、審判員は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (カ) チーム内でのユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- (キ) ゴールキーパーの「ショーツ及びソックス」はフィールドプレーヤーと同系色でも着用することができる。
- (ク) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (ケ) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (コ) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (サ) シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- (シ) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (ス) ユニフォームの色、選手番号の参加申し込み後の変更は認めない。
- (セ) ユニフォームへの広告表示は、日本サッカー協会 第 4 種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、日本サッカー協会に承認された場合のみ認められる。
- (ソ) J クラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ (J リーグ) のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。
- (タ) ※ JFA ユニフォーム規程第 10 条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ (J リーグ) に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

⑦ 試合時間

- (ア) 試合時間は 40 分 (前後半各 20 分) とする。
- (イ) ハーフタイムのインターバルは、選手の休息 5 分間を確保する。
- (ウ) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合
- ・大会 1 日目・2 日目の試合は、延長戦を行わずペナルティーキック方式 (3 名) により勝利チームを決定する。
 - ・大会 3 日目準々決勝以降は 10 分間 (前後半各 5 分) の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式 (3 名) により勝利チームを決定する。
- (エ) 延長戦に入る前のインターバル：原則 5 分間
- (オ) ペナルティーキック方式に入る前のインターバル：原則 1 分間

(カ) 新型コロナウイルスの影響により試合中止の場合は、当該チームは不戦（スコアは不要）とし、もう一方のチームが次回戦へ進出する。

⑧ 交代の手続き

- (ア) 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
- (イ) 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- (ウ) 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
- (エ) 交代は、主審の承認を得る必要はない。
- (オ) ゴールキーパーは事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- (カ) 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (キ) 新型コロナ感染対策として、ビブスの着回し防止のため交代時はビブスの受け渡しを行わず、第4審による背番号のチェックにより交代を行います。

⑨ 負傷者の対応

- (ア) 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

15. 懲罰

- ① 警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- ② 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。審判報告書を使用して次の試合に申し送る。
- ③ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ④ 退場を命じられた選手及び警告を2回受けた選手は、当該チームエントリー票の「出場停止理由」欄に日付と理由を記載すること。また、「警告」についても同欄に日付と理由を記載し累積がエントリー票で確認できるようすること。
- ⑤ 山梨県大会（予選）は懲罰規定上の同一競技会とみなし、終了時点で退場・退席による未消化の出場停止処分は全国大会において順次消化することになる。

16. マッチ・ウェルフェアオフィサー配置について

- ① 暴力・暴言・差別を排除し、安心・安全な環境づくりの一環として、必要に応じマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置します。
- ② 気づきがあった場合には、当該チーム、指導者に対してお話する場合があります。

17. 新型コロナウイルス感染症対応について

- ① 国、県、市町村関係機関及びサッカー協会などから発せられる要請等により大会を中止とする場合もあります。

- ② 新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止は主管する4種委員会及び参加チームの社会的責務であり、「YFA 大会実施ガイドライン」及び「YFA4 種チーム活動再開ガイドライン」また使用施設より求められる対策について十分に確認の上運営を行う。
- ③ 参加者（選手・チームスタッフ・審判員・運営スタッフ・応援サポートする保護者も含む）は YFA4 種感染防止対策ガイドラインにより求められる対策を理解したうえで参加すること。
- ④ 万が一、新型コロナウイルス感染症の陽性者が判明した場合は、直ちに保健所、通学校及び使用施設、YFA4 種委員会、その他関係機関へ連絡をしてください。
- ⑤ スマートフォンをお持ちの方は、感染者と接触した可能性がわかる接触確認アプリ（COCA）のインストールを要請いたします。

18. CHALLENGE CUPU-12（群馬県）大会について

- ・開催日時 「第1日」2022年 12月25日(日)
「第2日」2022年 12月26日(月)
「第3日」2022年 12月27日(火)
- ・会場 コーエイ前橋フットボールセンター・前橋総合運動公園・凶南サッカーパーク他
- ・参加チーム 1都7県の全日本U-12サッカー大会予選のベスト8の中から4チーム全32チーム。県大会において、準優勝したチームとベスト4（3位・4位）の2チーム。及びベスト8で優勝チームに敗れたチームを優先とする1チームとする。

20. 競技役員

大会運営責任者：（一社）山梨県サッカー協会4種委員長 鈴木和幸 090-8110-2710

事業運営部長：三科 健二郎 090-2255-1595

峡北会場責任者:福田和久 090-4709-8503 峡中会場責任者:望月一徳 090-4840-1205

甲府会場責任者:野村善仁 090-1033-2757 峡東会場責任者:風間 斉 090-8598-1295

郡東会場責任者:野口 徹 090-2673-4838 郡南会場責任者:近藤 暁 090-3212-9757

1日目・2日目各会場責任者：運営責任チーム

■ 雨天実施とする。実施が困難と予想される場合の対応については、役員による協議を行う。

21. 試合結果及び大会関係報告先

- ① 会場責任者は「試合結果」に誤りがいないことを確認し迅速に報告をお願いいたします。
- ② また、警告・退場等が発生した場合のみ「審判報告書」「重要事項報告書」の提出もお願いいたします。日程終了後ただちに下記へ送付願います。
- ③ 広報部鈴木 FAX055-251-7164 メール suuks@pg7.so-net.ne.jp
- ④ ライン等による報告も可能です、広報部鈴木にお問い合わせください。

※JFA 全日本 U-12 サッカー選手権大会山梨県大会

※山梨県4種委員会サッカーサポートブログ